

平成 27 年度農研機構シンポジウム
「露地栽培における点滴灌水技術の展開と進化」の開催について

ポイント

- ・ 11 月 10 日(火曜日)に滝野川会館（東京都北区）において、農研機構シンポジウムを開催いたします。
- ・ 「露地栽培における点滴灌水技術の展開と進化」をテーマに、点滴灌水技術に関する研究開発と生産現場の取り組みについて最新情報をご提供いたします。
- ・ 本シンポジウムは点滴灌水技術について、生産者、企業、行政・研究機関等、関係者が情報収集、意見交換するためのシンポジウムです。

概要

1. 農研機構では「露地栽培における点滴灌水技術の展開と進化」をテーマとして、農研機構シンポジウムを開催いたします。
2. 点滴灌水技術は、露地栽培における夏季の高温や水管理失敗のリスクを回避し、安定・多収を実現するために有効な手段です。しかし、初期導入コストや圃場の立地条件などが制限要因となり、日本国内での普及は専ら施設園芸が中心でした。
3. 農研機構近畿中国四国農業研究センターは、ソーラーポンプを利用した低コストな灌水装置（拍動灌水装置）を開発し、点滴灌水技術の露地栽培導入に関する研究に取り組んできました。また、国内各地域においては、本技術の精力的な普及が進みつつあります。
4. そこで、これらの取り組みや成果を報告するとともに、今後普及が期待される中山間地域への導入の際に解決すべき課題をターゲットとした最新の研究内容の紹介を通じ、本技術の今後の展開と進化について検討することを目的として、当シンポジウムを開催します。

報道関係各位におかれましては、本シンポジウムの開催を広くご案内いただきますとともに、当日ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

記

日 時： 平成 27 年 11 月 10 日（火曜日）13 時～17 時 15 分（12 時 受付開始）

場 所： 滝野川会館 大ホール
（東京都北区西ヶ原 1-23-3）

内容等： 別紙開催案内のとおり

内容等は農研機構近畿中国四国農業研究センターホームページ

URL：<http://www.naro.affrc.go.jp/warc/> の「セミナー・イベント情報」欄から
もご覧いただけます。

問い合わせ先

開催責任者：農研機構近畿中国四国農業研究センター 所長 竹中重仁

広報担当者： 同 広報普及室 関口博之

TEL：084-923-5208

FAX：084-923-5215

本資料は、筑波研究学園都市記者会、農政クラブ、農林記者会、農林技術クラブ、広島県政記者クラブ、日本農業新聞（北海道支所、仙台支所、東京支所、中国四国支所、九州支所）に配付しています。

※農研機構(のうけんきこう)は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。新聞、TV等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

平成27年度農研機構シンポジウム
「露地栽培における点滴灌水技術の展開と進化」
開催案内

1. 開催日時： 平成27年11月10日(火曜日)13時～17時15分 (12時 受付開始)
2. 開催場所： 滝野川会館 大ホール (東京都北区西ヶ原 1-23-3)
3. 主催・協賛・後援
主催： 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
4. 対象： 都道府県行政・普及機関、農林水産省関係部局、生産者・生産者団体、民間企業、大学、
公設試験研究機関、農業・環境関係研究法人ほか
5. 内容：
開会挨拶 13時00分～13時05分
農研機構 理事 長谷川 美典

セッション1: 拍動灌水装置を用いた点滴灌水技術の特徴 13時15分～14時45分
司会 農研機構近畿中国四国農業研究センター 松森堅治

露地栽培における点滴灌水施肥の普及をめざして 農研機構本部 吉川弘恭
拍動灌水装置の導入が作物および環境に及ぼす影響
農研機構近畿中国四国農業研究センター 渡邊修一、松森堅治、志村もと子

セッション2: 露地点滴灌水の現地での取り組み 14時05分～15時05分
司会 農研機構近畿中国四国農業研究センター 渡邊修一

露地ピーマンでのリン酸減肥栽培 岩手県立農業大学校 漆原昌二
アスパラガス栽培圃場等への導入事例 山形県農林水産部 深瀬 靖
地域ブランド野菜“サラダ紫”の高品質化
神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所 石森裕康

セッション3: 点滴灌水技術の導入拡大に向けて 15時15分～16時35分
司会 農研機構近畿中国四国農業研究センター 笹倉修司
傾斜農地で水源を確保するためのソーラーポンプシステム 農研機構農村工学研究所 島崎昌彦
中山間地域に見られる地形向けの配管手法を提案する 農研機構近畿中国四国農業研究センター 笠原賢明
ソーラーパルサーEの開発 有限会社プティオ 神谷 宏

総合討議 16時35分～17時10分
司会 農研機構近畿中国四国農業研究センター 松森 堅治

閉会挨拶 17時10分～17時15分

6. 定員: 先着 150 名
定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。
定員を超過し、お断りする場合のみご連絡いたします。
7. 参加費: 無料
8. 参加申込方法:
平成 27 年 10 月 15 日(木曜日)までに、農研機構 HP イベント・セミナー申し込みフォームより申し込み頂くか、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、電子メール、ファックスにてお申し込みください。
<申込先>
(1) http://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro132/naro_sympo2015_1110
(2) 電子メール: naro-sympo1110_2015@ml.affrc.go.jp
件名: 平成 27 年度農研機構シンポジウム「点滴灌水」参加
本文: 「お名前」、「所属または職業」、「連絡先(電話番号、メールアドレス等)」、「参加者名簿への掲載の可否」
(3) FAX:084-923-5215
9. 問合せ先:
農研機構近畿中国四国農業研究センター 広報普及室 関口博之(せきぐちひろゆき)
TEL.084-923-5208 FAX.084-923-5215 E-mail. naro-sympo1110_2015@ml.affrc.go.jp